

令和 2 年度事業計画

畜産・食肉産業を取り巻く環境は、高齢農家の離農などによる畜産物の供給不足、枝肉や飼料価格の変動、そして、TPP11 協定、日EU経済連携協定、日米貿易協定の発効や中国への牛肉輸出再開に向けた動きなど、めまぐるしく状況が変化しています。一方、我が国の牛肉の輸出拡大が続いており、令和元年の輸出量は前年と比べて 21.9%増の 4,339 トンになり、過去最多だった平成 30 年を大きく上回りました。

このような状況の中、当社は食肉流通機構の合理的改善と広域的な食肉供給拠点としての役割を確保することにより、安定的に食肉を供給するとともに、食生活の改善に関する知識の普及啓発を行ない、もって食肉産業の発展と一般消費者の利益の擁護及び増進を目的とした活動に引き続き取り組みます。

令和 2 年度は、関係機関との連携を図りながら 7,500 頭のと畜頭数を確保するように努めるとともに、中長期経営計画に基づき、下記の取り組みを進めます。

記

1 牛の集荷活動

牛の搬入数を増加させ、食肉を安定的に供給するため、兵庫県内をはじめ、香川県、山口県などの畜産農家に対して直接訪問し、当社と加古川食肉産業協同組合及び加古川中央畜産荷受株式会社が協力して、牛の出荷要請活動を積極的に進めていきます。

2 施設の計画的な修繕

建物・設備が老朽化する中、定期メンテナンスを行いながら、緊急性があり重要な設備を最優先にして、計画的に修理・取替え等を進めていきます。なお、令和 2 年度の主な修繕予定は、次のとおりです。

- (1) 枝肉冷蔵庫の空調機器の更新
- (2) 枝肉計量器の更新
- (3) 污水处理施設の各種配管の更新
- (4) 解体作業に使用する昇降台のシリンダー取替
- (5) キュービクルの修繕

3 輸出施設としての認証取得及び販路拡大

海外での和牛需要が旺盛であることから、新たな輸出先の開拓が重要になってきます。このため、台湾等への輸出施設としての認証を取得できるよう、部分肉加工場で HACCP の取り組みを進めていきます。

4 経費の削減

施設の老朽化による維持補修費が増加していることから、小規模な修繕について自ら対応できるように、修繕業務を行う保守要員の確保を図ります。これにより、予防修繕を取り入れ、経費の削減を図ります。また、光熱水費の見える化を図るため、予算の執行状況を掲示板に張り出し、食肉センターに関係する多くのステークホルダーに対して、節約に対する意識の向上を

促します。さらに、修繕時の業者選定プロセスの見直しを行い、速やかに対応できる手順を確立し、経費の削減を図っていきます。

5-1 地域ブランド牛の普及推進

高品質な地域ブランド牛である「加古川和牛」及び、安全・安心・手頃な値段の「志方牛」の普及に努め、特産品としての地域をより一層高めることで、地域食肉産業の充実を図っていきます。

特に、加古川市民を中心に周辺地域住民に愛されるブランドとして普及させていくため、加古川市農林漁業祭、加古川市公設地方卸売市場の市場まつり、JA兵庫南ふぁーみんフェスタなどの各種イベントを通じて、ブランド牛の普及推進に取り組んでいきます。

5-2 収益事業の開拓

安定的な経営を行うために新たな収益事業を開拓する必要があることから、食肉製品の販売により売上高を増加し、収益性を向上することについて検討していきます。